

H I V / エイズについて

～正しく知って差別や偏見をなくしましょう～

治療の進歩により、H I V (エイズウイルス) による死亡率は劇的に減少し、H I V 感染症は慢性病の1つとして考えられるようになりました。

大阪市でH I V 感染症の治療のために身体障がい者手帳を取得している人は、毎年増加し、2000人以上います。

高齢化の進行などにより、自立困難で助力を求めるH I V 陽性者が増えてきました。そのため、H I V 陽性者の受け入れ先として、福祉施設や在宅支援への期待が高まっています。

受け入れに対する不安を少しでも軽減するために、まずは、H I V / エイズに関する正しい知識を身に付けることで、受け入れの準備をしていきましょう。

H I V / エイズ = 死ではありません。

- ◆治療の進歩により、H I V に感染しても早期に治療をはじめれば、感染していない人と同じように寿命をまっとうすることができます。
- ◆治療方法が進歩して1日1回1錠の薬もあり、今までと同じような日常生活を送ることができます。

U=Uとは？

HIV治療を検査で検出されないほどウイルス量が減少し (Undetectable)、その状態を治療により維持している人からは、感染しません (Untransmittable)。



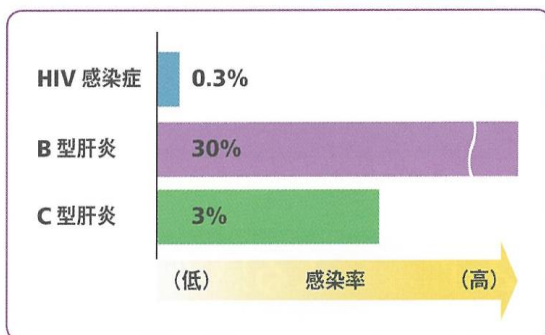
そんなに簡単にうつりません。

こんなことでは感染しません！



HIV は非常に感染力の弱いウイルスです。
普段の生活の中では感染することはありません。

■ 針刺し事故の場合の感染率



B型・C型肝炎ウイルスに比べても
感染力が低いのがわかります。
感染予防対策は、標準予防策
(スタンダードプリコーション)で
十分です。

H I V陽性者へのサービス提供にあたって 特別な配慮は要りません

まずはH I V・エイズについて、知識をアップデートしませんか？

社会福祉施設・事業所等への出張講座

「H I V・エイズの正しい知識に関する講座
～受け入れに困らないために～」

講師：保健所・区保健福祉センター保健師等

お問い合わせ・H I V／エイズに関するご相談は…

大阪市保健所感染症対策課感染症グループ 電話 06-6647-0656

H I V・性感染症情報ナビ (大阪市ホームページ)

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000549405.html>

